

電気事業者のコア技術の明確化

四国電力株式会社 徳田 充

1. 分科会の活動概要

本分科会は、「長期的な視点に立って豊富な現場経験を有する現場技術者・技能者を継続的に育成・確保していくことが重要。特に、指導員クラスを計画的に育成し、技術継承していくことが重要」との課題解決を目的としている。

メンバーは、電力会社、メーカー、研究機関、関係団体、国の人材育成関係者から構成されており、今年度の活動項目は以下のとおり。

5-1 電気事業者のコア技術の明確化

5-2 電気事業者の人材育成および技術継承策の整理／可視化

5-3 プラントメーカーの技術継承策の整理／可視化

なお、25年度については、福島第一事故を教訓として、「二度と同じような事故を起こさないためには、現場技術者・技能者の育成をどうすればいいのか」をメインテーマとして、これまで報告された事故調査報告書とは違う観点から課題や提言等を別途取りまとめる。

2. 電気事業者のコア技術の明確化

電気事業者の保安規定に記載している重要な業務(*1)等を行うに当たり必要な知識や能力(コア技術)を、その業務を行う職種(*2)ごとに整理した。また、これらのコア技術の技術継承策を整理し可視化することで、電気事業者が計画的かつ体系的に人材育成を行っている姿を明確にすることができる。

(*1) 安全文化、品質保証、運転管理、燃料管理、放射性廃棄物管理、放射線管理、保守管理、非常時の措置、保安教育、記録および報告

(*2) 保修員、運転員、放射線管理員、化学管理員、原子燃料管理員、共通、基礎的能力

以上